

「加西市立小中学校の再編方針」

地域説明会

加西市

加西市教育の基本理念

- 「郷土を愛し 豊かに未来を拓く 人づくり～人生100年時代を生きる～」
- 学校園、家庭、地域社会が一体となり、「市民すべてがかかわる加西の教育」に取り組む。
- 次世代型の人材育成
(加西STEAM、地域との連携による学校づくり)

学校再編の基本的な考え方

- 教育の基盤は、「人と人との関わり」です。
- 人は生涯を通じて多様な人との関わりや経験から学び、人格を形成します。「人と人との関わり」は子どもにとって大きな人生の財産といえます。
- 急激な人口減少の中、多様な人との関わりと学びの機会を確保し、子どもと教職員、保護者、地域が一緒に成長できる教育環境をつくるには、学校再編は避けては通れない課題です。

3

小学校区別・年齢別人口一覧（令和5年4月1日現在）

年齢	学齢	北条	北条東	富田	賀茂	下里	九会	富合	日吉	宇仁	西在田	泉	合計
0		46	66	10	4	17	21	6	5	4	3	9	191
1		42	54	12	11	19	20	12	7	5	3	8	193
2		50	53	11	14	28	16	21	9	5	5	13	225
3		72	58	13	15	23	29	12	8	4	3	12	249
4		64	52	20	10	30	38	20	13	4	8	13	272
5		58	57	20	15	23	25	26	12	8	4	26	274
6	小1	72	55	19	23	35	39	23	14	10	11	25	326
7	小2	68	60	22	19	28	40	24	17	12	11	27	328
8	小3	66	53	24	13	40	31	24	13	13	11	21	309
9	小4	77	58	23	19	37	46	32	14	6	18	31	361
10	小5	63	56	14	16	30	46	19	22	15	15	24	320
11	小6	69	56	25	10	30	49	26	13	13	12	20	323
12	中1	57	53	22	17	26	43	44	11	11	14	35	333
13	中2	76	49	32	15	21	53	24	15	9	8	17	319
14	中3	67	43	25	19	21	35	20	16	12	18	35	311

4

学校再編の課題と取組

小学校6年間(中学校3年間)クラス替え無し

同級生10名以下のクラスや複式学級の発生

部活動の選択幅が少ない

クラス替えができる環境、仲間が増える環境により、多様な人との関わりの場を整えます。また、多様な学びや活躍の機会を確保します。

教員の多忙化・校務負担の増

隣の担任に学べない。切磋琢磨できない。

免許外教科指導の発生

教員同士が学びあい、助け合える環境を整え、教育の質を向上します。

学校の小規模化に対する保護者の不安感

PTA参加者の減少

まちの人口流出・高齢化を止めるために、子育て世代に選ばれる教育環境をめざします。

5

再編方針策定まで

令和4年9月 加西市未来の学校構想について(答申)



令和5年8~9月 保護者説明会 11小学校区
令和5年9月 全保護者、中高生アンケート
令和5年10月 同アンケートの公表
令和5年11月 タウンミーティング 10地区



令和5年12月 加西市立小中学校の再編方針の公表

6

中学校の再編方針

- 令和10年4月を目標に2校に再編します。
- 2校のうちの1校は現状の北条中学校、もう1校は善防中学校、加西中学校、泉中学校を統合し、新たな中学校(以下「(仮)加西中央統合中学校」とします。
- 立地場所は各地区からアクセスしやすい候補地(加西インター周辺から飯盛交叉点までの沿道周辺)を取得し整備します。(用地確保が困難な場合は既存の学校用地を確保)
- 中学校の再編方針は「加西市未来の学校構想検討委員会答申書」(令和4年9月)の考え方のとおりです。

7

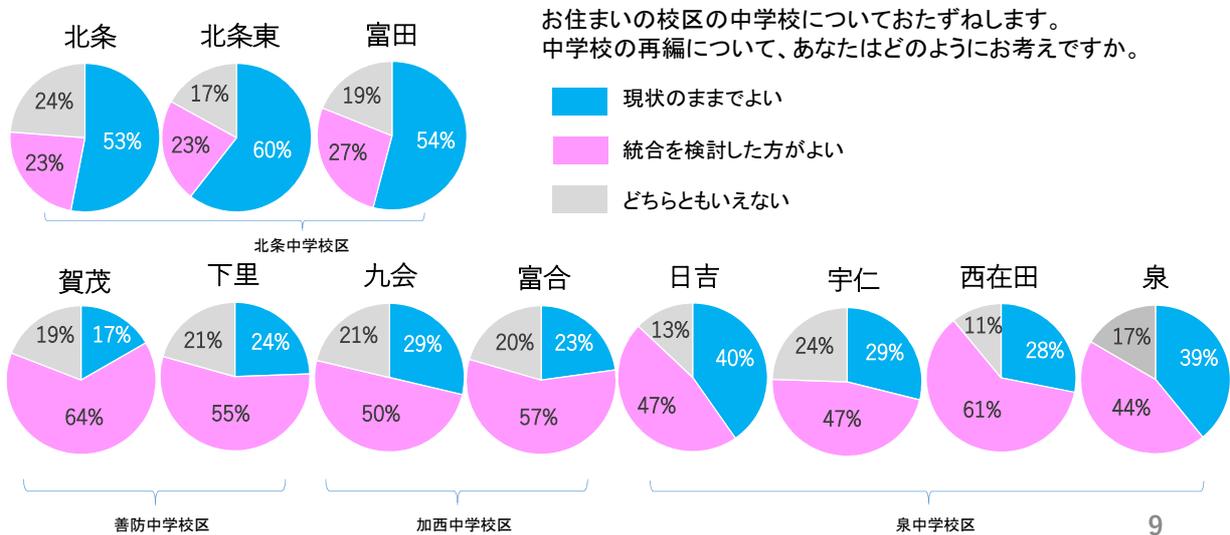
中学校の再編図



統合中学校の名称はあくまで仮称です。正式名称は公募も含めて決定します。

8

中学校再編に関する保護者アンケート結果



中学校再編の考え方 ①

- 将来にわたって単学級が発生しない中学校の規模を確保するには市内の中学校は1校あるいは2校です。
- 1校統合は学校規模が大きすぎます。(1学年8～9クラス)
- 2校あることによって、学校間で切磋琢磨する機会を保持することができます。
- 2校あることによって、教職員も資質向上に向けた異動交流が可能です。

中学校再編の考え方 ②

- 北条中学校では中学校の小規模化に伴う課題は発生しておらず、統合の必然性は低いと考えられます。北条中学校区内の保護者アンケートでは統合を望む意見は少ない結果となりました。
- 北条中学校と他中学校との統合は、北条中学校のある中学校区が大きくなり、2校の均衡が図れません。また、北条中学校の校舎増築が必要となり、もう一方の統合中学校の整備と合わせると財政負担は大きくなります。

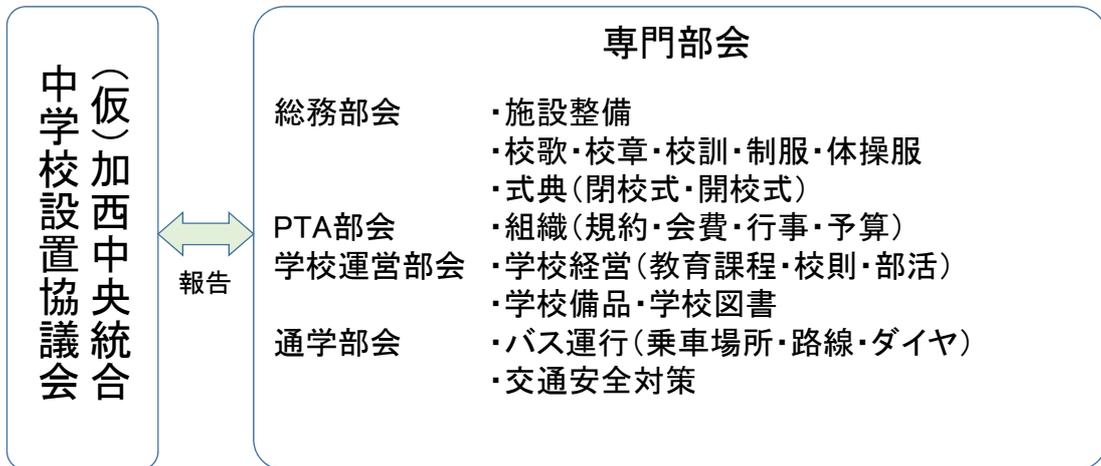
11

中学校再編の推進体制 ①

名称	(仮)加西中央統合中学校設置協議会
構成員	小中学校長 小中学校PTA推薦者 小学校区地域推薦者 学識者 他
事務局	加西市教育委員会 (仮)学校再編推進室
期間	令和6年6月～令和10年3月
部会	上記協議会とは別に各種専門部会を置く 総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学安全部会等

12

中学校再編の推進体制 ②



13

小学校の再編方針 ①

- ・令和8年4月に日吉小、宇仁小、西在田小、泉小を統合。
統合小学校の場所は泉小学校。（仮）泉統合小学校

ただし、宇仁小学校の統合については、今後、保護者や地域の意見を踏まえながら、継続協議とします。

14

小学校の再編方針 ②

- 令和10年に賀茂小、下里小を統合。場所は下里小学校。
（仮）善防統合小学校
- 令和12年に九会小、富合小を統合。場所は九会小学校。
（仮）加西統合小学校
- 富田小学校は児童数が9人以下の学級が見込まれる場合、または保護者や地域住民が小学校の統合を望む場合は北条小学校との統合の検討を始めます。

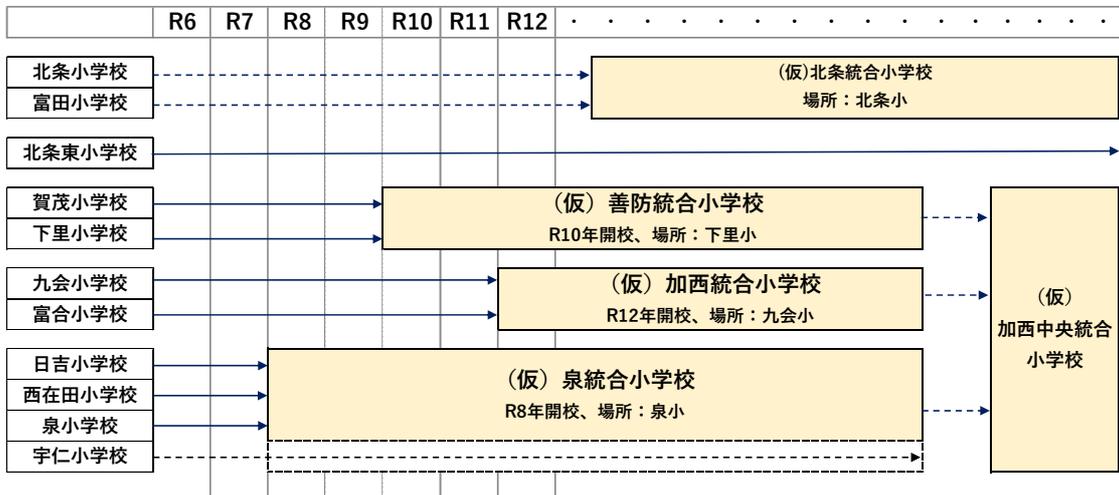
15

小学校の再編方針 ③

- 各地域の拠点として、再編後の小学校を今後も堅持できるよう最大限の努力をしていきます。
- それでもなお、児童数の減少が見込まれる場合においては、その後の学校再編の方針を以下のとおり示します。
- （仮）善防統合小学校、（仮）加西統合小学校、（仮）泉統合小学校のいずれかの小学校で、児童数が9人以下の学級が見込まれる場合、当該3小学校の統合の検討を始めます。

16

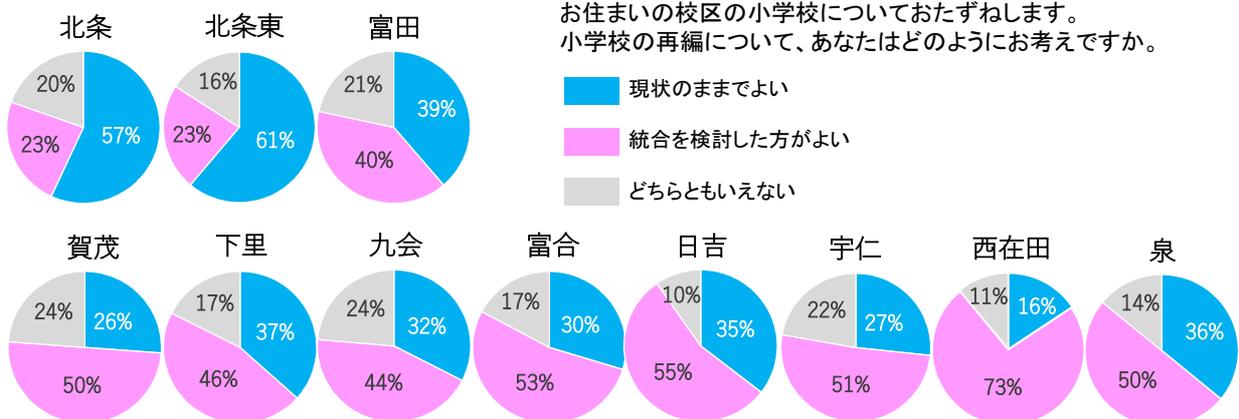
小学校の再編図



統合小学校の名称はあくまで仮称です。正式名称は公募も含めて決定します。
破線の矢印は実施時期が未確定であることを示します。

17

小学校再編に関する保護者アンケート結果



18

小学校再編の考え方

- 地域の未来に向けて、保護者の意見を大切にし、子育て世代に選ばれる教育環境づくりを進めます。(中学校も同様)
- 保護者アンケート結果では北条中学校区を除いて、早期に小学校の統合を望む意見が多くありました。

19

既存の小学校校舎を活用する利点

- 早期統合を望む保護者の意見を反映した迅速な対応ができます。
- 1学年2学級が早期に実現します。
- 今後に発生が見込まれる複式学級の対応に間に合います。
- 中学校の校舎を小学校用に転用するには大規模な改修が必要となり、既存の小学校舎を活用する方が早くスムーズな整備が可能となります。また、コストを抑制することにもなります。

20

既存の小学校校舎を活用する際の課題

- 学級数や特別支援学級数の増加に対応する校舎等の一部改修を早期に行う必要があります。

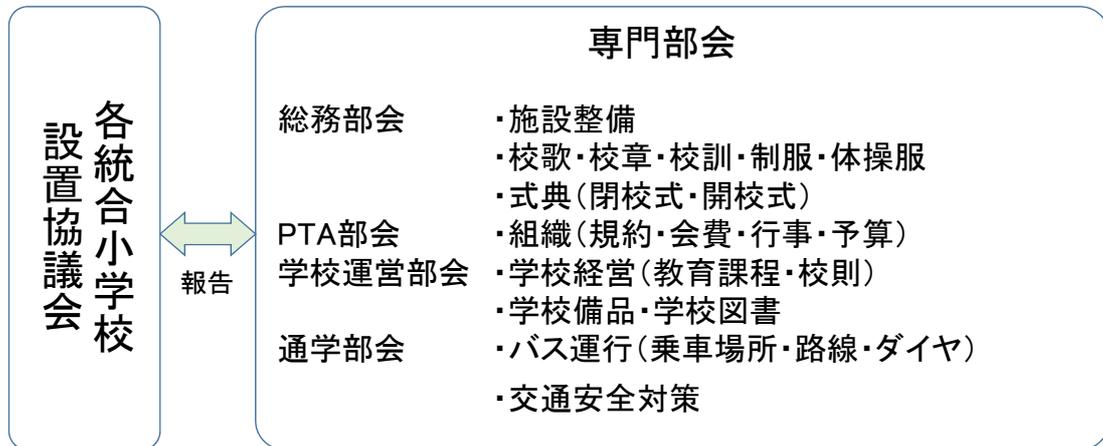
21

小学校再編の推進体制 ①

名称	(仮)泉統合小学校設置協議会
構成員	小学校長 小中学校PTA推薦者 小学校区地域推薦者 学識者 他
事務局	教育委員会 (仮)学校再編推進室
部会	上記協議会とは別途に各種専門部会を置く (他の統合小学校も上記に準じます。)
期間	令和6年4月～令和8年3月

22

小学校再編の推進体制 ②



23

学校再編にあたって目指すべき加西市の教育

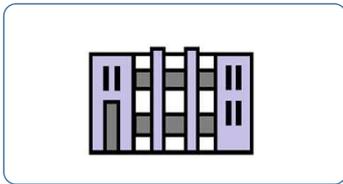
- 学校再編により、子どもたちに多様な人との関わりと学びの機会を確保し、子どもと教職員、保護者、地域が一緒に成長できる教育環境を整えます。
- 再編にあたっては少人数学級や少人数授業の工夫など、子ども一人一人を丁寧に見ることができる小規模校の良さを残します。
- 「基礎基本の定着」、「加西STEAM」、「グローバル教育」等を推進し、魅力ある加西の教育を実現します。

24

小中一貫教育と施設形態

- 小中連携の取組の一つ。小学校から中学校への滑らかな接続を目指し、小学1年生から中学3年生までの連続性を意識した教育です。
- 小中教職員の指導理念の共通理解や情報共有が図れます。
- 小中9年間の系統性のある学習指導が可能となります。

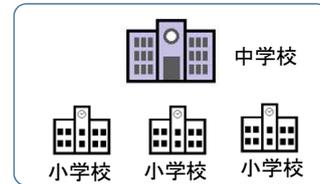
施設一体型



施設隣接型



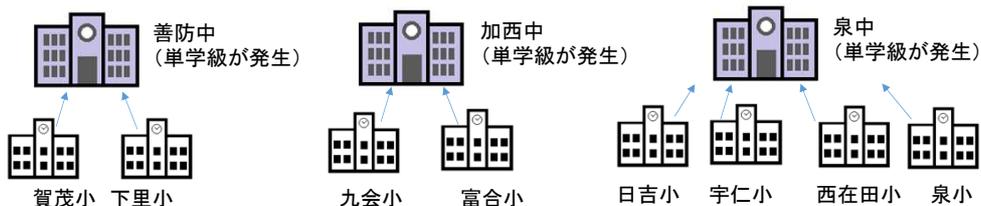
施設分離型



25

現中学校を小中一貫校にした場合の問題

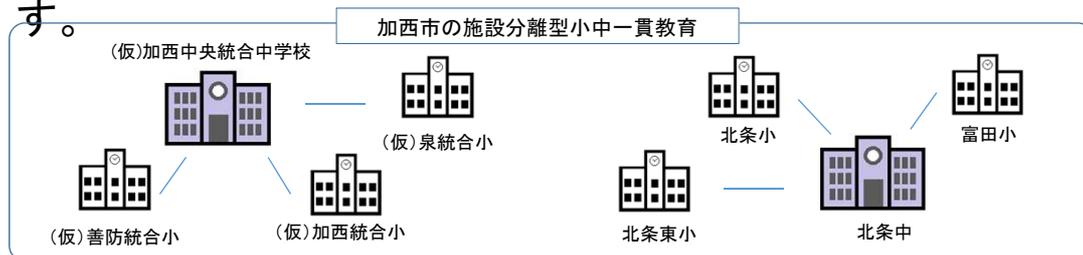
- 現在の善防中学校と加西中学校、泉中学校の3中学校区で小学校を統合し、中学校との小中一貫校にした場合、将来的な中学校の単学級の可能性が高く、小規模中学校の課題は解消されません。
- 小中学校を施設一体型にした場合、9年間同じ学校でほぼ同じメンバーで過ごすという問題が生じます。



26

再編により目指す小中一貫教育

- 加西市の小中一貫教育は学校再編にあわせて、小中一貫教育の利点を活かした施設分離型の一貫教育を進めます。
- (仮)加西中央中学校は統合小学校3校と、北条中学校は北条小、北条東小、富田小とそれぞれに小中連携を行います。



27

スクールバスの運行

- (仮)加西中央統合中学校のスクールバスは自宅から中学校までの距離が4キロメートル以上の生徒を対象とします。同中学校のバス利用者は自転車通学の選択も可能。
- 統合小学校のスクールバスは、集団登下校が前提となるため、集団登下校の集合場所から小学校までの通学距離が2キロメートル以上の児童を対象とします。
- バス停、ルート等の詳細は地域と個別に協議を進めます。

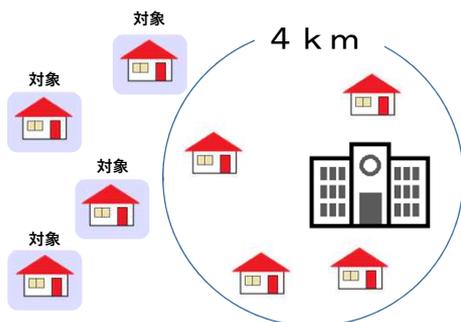
(参考) 文科省が定める通学距離の上限は小学校4キロメートル、中学校は6キロメートル

28

スクールバスの利用対象となる児童生徒

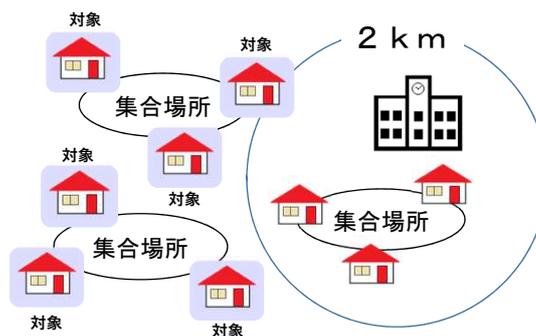
中学校

自宅から中学校までの実測距離が4km以上の生徒



小学校

集団登下校の集合場所から小学校までの実測距離が2km以上の児童



29

スクールバスの利用料金

- 小学校、中学校ともにスクールバスの送迎費用は加西市が負担します。
- コミュニティバス等の既存交通を児童生徒が利用する場合、保護者負担が発生しないよう措置を講じます。

30

既存施設、跡地等の活用

- 少子化対策や地域活動の拠点づくりとなる施設活用、跡地利用については、令和6年2月以降に地域との協議を重ねながら活用法を検討します。

31

会場の皆様のご意見をお聞かせください

QRコードを読み取り、「回答フォーム」に記入して送信してください。



32